

南区青少年の地域活動拠点
運営団体選定結果報告書

令和6年1月

1 選定方法

(1) 手順

ア 選定にあたり、青少年の地域活動拠点運営団体選定にかかる検討会（以下、「検討会」という。）において、応募団体から提出された応募書類及びヒアリングを基に、各委員が各団体の意見書を作成しました。

イ 青少年の地域活動拠点運営団体選定評価委員会（以下、「選定評価委員会」という。）において、応募書類及び検討会各委員の意見書を参考に、選定評価基準に沿って、応募団体を評価しました。なお、評価は、各委員 120 点満点の計 600 点満点とし、最低基準を 360 点としました。

ウ 選定評価委員会の評価を基に、運営団体を選定しました。

(2) 検討会 委員（50 音順）

福田 幸男 横浜国立大学名誉教授
米田 佐知子 子どもの未来サポートオフィス代表
四方田 信和 南区堀ノ内睦町連合町内会会長
沖野 真砂美 南区主任児童委員連絡会代表
山崎 直宏 南区青少年指導員協議会会長

(3) 選定評価委員会 委員（役職）

こども青少年局青少年部長
こども青少年局青少年育成課長
南区地域振興課長
南区こども家庭支援課学校連携・こども担当課長
教育委員会事務局東部学校教育事務所指導主事室長

2 選定結果

(1) 応募団体

2 団体から応募がありました。

(2) 選定結果

選定の結果、次のとおりとなりました。

順位	団体名
第 1 位（運営団体）	特定非営利活動法人 教育支援協会南関東

(3) 評価

(※配点及び応募団体の採点欄は、選定評価委員会の委員5人全員の合算点です。)

評価項目		配点	応募団体の採点	
			団体A	団体B
基本方針	(1) 青少年の健全育成や困難を抱える若者の自立支援への取組の考え方について	25	12	18
	(2) 事業実施期間3年間の目標と計画方針について	50	22	34
事業実施計画	(1) 中・高校生世代を中心とした青少年が気軽に集い、自由に活動する場の提供	75	39	60
	(2) 中・高校生世代を中心とした青少年が、仲間や多世代と交流する機会の提供	75	36	51
	(3) 中・高校生世代を中心とした青少年を対象とした、地域資源を活用した社会参加プログラムの実施	75	36	54
	(4) 青少年育成に取り組む地域団体・機関及び支援者との情報交流やネットワークづくり	75	36	54
	(5) 主に中・高校生を対象とした学習支援等	50	30	38
	(6) その他、本市が必要と認める事業（保護者支援や南区の特性・課題を踏まえた事業の実施等）	50	19	38
	(7) 横浜青年館活用の考え方	50	19	34
事業運営	(1) 収支計画について	25	10	16
	(2) 人材育成、苦情処理、個人情報保護、事故防止への対応に関する取組みについて	25	10	19
	(3) 財務状況について	25	10	10
合計点数		600	279	426

3 選定評価委員会における主な意見

(1) 団体A

- ・地域に根差した団体であり、子どもの育ちの様子が見えていて、子どもの成長に関わりたい気持ちが感じられた。
- ・熱意は感じられ期待はできるが、準備期間が短かったためか、具体的な部分が少なく、横浜市の施策の理解も足りなかった。
- ・未就学児に対する知見があるため、青少年に対する支援にも活かせるよう、しっかり準備して次回チャレンジしてほしい。

(2) 団体B

- ・現在の課題や、南区の子どもの現状を幅広く認識している。もう少し具体的な対応策があるとよかった。
- ・実績の強みが感じられた。新しく進める部分についても頑張ってもらいたい。
- ・広報の弱さとスタッフの確保に不安があるが、青年館をどのように使っていくか、これまでとは違う展開を期待したい。

4 主な選定スケジュール

時期	手続等
令和5年11月22日(水)～12月22日(金)	公募期間(申請の受付)
令和5年11月22日(水)～12月4日(月)	質問の受付
令和5年12月6日(水)	現地見学会
令和5年12月15日(金)	質問の回答
令和6年1月11日(木)	①選定にかかる検討会(書類選考、団体プレゼンテーション、ヒアリング) ② 選定評価委員会

(参考：選定評価基準)

評価項目	審査の視点	配点
1 基本方針		15
(1) 青少年の健全育成や困難を抱える若者の自立支援への取組の考え方について	・「横浜市中期4か年計画」政策29「子ども・若者を社会全体で育むまち」や「横浜子ども子育て支援事業計画」の基本施策②「学齢期から青年期までの子ども・青少年の育成施策の推進」を踏まえた事業計画になっているか。	5
(2) 事業実施期間3年間の目標と計画方針について	・期間中の具体的な達成目標とその計画方針が示されており、実現性があるか。	10
2 事業実施計画		90
(1) 中・高校生世代を中心とした青少年が気軽に集い、自由に活動する場の提供	青少年が気軽に集い、自由に活動する場の提供について、取組内容が具体的に示されており、実現性があるか。	15
(2) 中・高校生世代を中心とした青少年が、仲間や多世代と交流する機会の提供	青少年が仲間や多世代と交流する機会の提供について、具体的に示されており、実現性があるか。	15
(3) 中・高校生世代を中心とした青少年を対象とした、地域資源を活用した社会参加プログラムの実施	地域資源を活用した社会参加プログラムの実施について、具体的に示されており、実現性があるか。あわせて地域の様々な団体との連携が見込めるか。	15
(4) 青少年育成に取り組む地域団体・機関及び支援者との情報交流やネットワークづくり	地域の様々な団体・機関・施設との交流や連携について、具体的に示されており、実現性があるか。	15
(5) 主に中・高校生を対象とした学習支援等	良好な学習環境が整えられているか、中・高校生に合った学習支援が具体的に示されており、実現性があるか。	10
(6) その他、本市が必要と認める事業（保護者支援や南区の特性・課題を踏まえた事業の実施等）	青少年育成者の人材育成事業の企画、保護者向け事業や区の特性・課題を踏まえた提案事業について、具体的に示されており、実現性があるか。	10
(7) 横浜青年館活用の考え方	横浜青年館の施設の特徴を踏まえた青少年地域活動拠点としての有効な活用方法が具体的に示されており、実現性があるか。	10
3 事業運営		15
(1) 収支計画について	・利用者負担の考え方を含めて、合理的な収支計画が示されており、応募団体の提案する補助金額が適正であるか。	5
(2) 人材育成、苦情処理、個人情報保護、事故防止への対応に関する取組みについて	・人材育成、苦情処理、個人情報保護、事故防止への対応に関する取組みが具体的に示されているか。	5
(3) 財務状況について	・財務状況の観点で、団体の健全な運営ができているか。	5
合計		120
総計	120点 × 5人	600
	最低基準	360